



# 垂水市立 垂水小学校

児童数 352人  
学級数 17クラス



## 《テーマ》

児童の自尊感情と自己有用感を育み、生きる楽しさ・幸福感を追求する児童の育成

### 研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校は、学校教育目標「ふるさと垂水を大切に、未来の創り手となる資質・能力を身につけた児童の育成」の具現化を図るため、児童の人権尊重の意識を高め、互いに認め合っ、共に向上していこうとする態度を育てるとともに、人権同和教育に関する理解と見識を教児共に深めることができるように取組を行った。

### 研究スケジュール

5月26日（水）人権教室（2・3・4年）  
11月1日（月）職員研修  
「男女平等などについて」  
11月16日（火）人権教室（1・5・6年）  
11月13日（土）～12月11日（土）校内人権月間  
※「学校楽しい一と」の実施

### 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

#### □ 人権教室の実施（1・2学期）

県教育庁人権同和教育課から講師を招き、人権について考えたり、みんなが「笑顔」になるために、わたしが、ぼくができることを考えたりした。コミュニケーションの必要性や認め合うことの大切さを学ぶことができた。

#### □ 人権意識を高めるための職員研修

県教育庁人権同和教育課から講師を招き、「人権教育は全ての教育の基本」と題して、人権教育を取り巻く情勢や参加型学習の進め方、男女共同参画に向けた学校での取組などについて研修を深めることができた。

#### □ 人権標語づくり（親子で考える）

人権月間での取組の一環として、人権標語づくりを親子で取り組んだ。それを学年コーナーに掲示したり、優秀作品を一覧にして紹介したりすることができた。

#### □ 人権月間における学級のめあてと活動計画

人権月間での取組の一環として、人権委員の選出を行い、各クラスで人権月間における学級でのめあてや活動計画を教室に掲示し、一人一人に人権を意識させながら取り組んだ。

#### □ ホームページでの情報発信

学校ホームページ上にて、県人権教育プロジェクトの取組やSOSの出し方教育の様子について、保護者や地域等へ情報発信することができた。



【人権教室】



【職員研修】



【情報発信】

### 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

#### □ 成果

- ・ 人権教室後の日記などの感想から、「みんなが笑顔になるために、相手のよいところをたくさん見つけてたくさん褒めたい」、「相手の気持ちを思いやる、温かい言葉をかける」など、児童なりに人権について考え、行動することができるようになってきた。
- ・ 今回のプロジェクトの研修を受けて、職員自身の人権感覚を養っていくよい機会にもなった。今回は、男女共同参画についての研修であったが、また違った内容も受けたいという声も多かった。

#### □ 課題

- ・ 「学校楽しい一と」の結果から自己肯定感が低い児童も多かった。様々な取組を継続して取り組んでいくことで、少しでも自己肯定感や自己有用感を高めていきたい。